

文化情報誌

Passion

・ パッション

特集「レジエント」



輝くひと 生産者と消費者の壁を壊す

「しなやかファーム代表
阿部 俊樹

FLASH 夢の実現に向かって準備中！

保育士・消防団員・市民リポーター
神田 亜弥乃

誌名の「Passion」は
燃えるような「情熱」の意味です。

元気な四日市が好き!!
一般社団法人
四日市市文化協会

2020
sep. 67

コロナウイルスとの戦い方

公益社団法人 四日市医師会会長 加藤尚久



私は、四日市の北西地区に住まいしております。川の近くに住居があるせいか真夏でも朝夕は比較的涼しい川風が吹き込んで冷房を使う時間帯は昼間に限られることが多いです。

梅雨の明けた、7月の最終日曜日、普段気持ちに余裕がないため、庭木をまじまじと見ることはありませんでしたが、その日の朝は、涼しい風に誘われて庭先に出たところ、玄関先のトネリコの木に、多くのカブトムシが樹液を吸っている姿を見つけました。木の高さは3mくらいですが目の高さのところまでに雄雌合わせて6匹ほどがじっと樹液を吸っていました。翌日も数匹のカブトムシは存在したようですが、4、5日たつと1匹もいなくなり木の下にはいくつかのカブトムシの残骸がありました。天敵であるカラスに捕食されたのでしょうか。自然の摂理を感じました。

今世の中は見えない敵、新型コロナ感染拡大のため不安が広がっています。コロナウイルスは、ウイルス自身が生存していくうえで大変巧妙なウイルスといわれています。毒性はそれほど強くなく、たとえ感染しても重篤化することは少なく、特に若者は軽症者が多数を占めます。元気な感染者が世の中を歩き回り多くの人に感染を伝播します。恐ろしいことに基礎疾患のある方や高齢者の方が感染すると重篤化しやすく、重症者や亡くなる方が出現します。一方で感染力はそれほど強くなく、マスク手洗いなどの基本的な感染防御を行い、いわゆる3密、密集、密接、密閉など避ければ感染拡大は防げると考えられております。四日市地域においても新たなPCR陽性者が日々報告されておりますが、文化活動もおろそかにできません。自然現象であるウイルスの特質を理解して賢く感染拡大予防を行い社会活動が進められることを祈ります。



表紙写真 四郷郷土資料館と彼岸花
写真提供 四日市市

『レジェンド(legend)』を英和辞典で引くと『伝説』『伝説的人物』などと説明されています。今号では、年齢を重ねつつも、現役で活躍している人、建物、橋などを取材しました。



3つの「密」を避け かからない、うつさない

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

Eメール

ybk@yokkaichishibunkakyoukai.com

開局時間 月曜日から金曜日までの
13時～17時(祝祭日は除く)

ホームページ

四日市市文化協会 検索



HPが新しくなりました(8/20～)

Passion

67 2020
sep.

巻頭によせて

コロナウイルスとの戦い方

公益社団法人 四日市医師会 会長 加藤 尚久

特集 『レジェンド』

作曲家活動は生涯現役	作曲家 森 悦彦 ……………	2
書と共に	書家 加藤 子華 ……………	3
旧四日市市立図書館の建物(すわ公園交流館)	……………	4
当時の最先端! 人工島に架かった港の跳ね上げ橋 臨港橋	……………	5

Sparkling Personality 輝くひと

生産者と消費者の壁を壊す 「しなやかファーム」代表 阿部 俊樹 …………… 6

FLASH 夢の実現に向かって準備中! 保育士×消防団員×市民リポーター 神田 亜弥乃 …………… 8

Voice 聞かせて!あなたの声 チェロ奏者 米本 希 …………… 9

訪問レポート

ハンドメイド注文服店『小津洋服店』 小津 年 …………… 10

「遊ぼうよ! 学ぼうよ!」 すいざわ田んぼの楽隊 前田 佳男 …………… 11

人生道中 藤栗毛

路傍の自然石考 ⑦ 四日市の二つの「なぜ石」 吉川 宗明 …………… 12

(敬称略)

パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば 現代詩 階段 館 奈見子	……………	13
令和元年度 一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞	……………	14
総合美術展 みんなで創造ろう楽しい集い!	……………	15
私たちの活動を振り返って <small>四日市市歴史博物館 運営委員会</small> 熊本 梨里	……………	16
第70回 四日市市民芸術文化祭	……………	17
この人を知る 森 修平さん	……………	18
四日市市文化協会入会のご案内	……………	19
不易流行/リレーエッセイ/理事長のつぶやき/編集後記	……………	20

作曲家活動は生涯現役

作曲家
森悦彦



生まれも育ちも四日市の森悦彦氏は現在84歳の現役の作曲家。10歳の時に四日市空襲を体験されている。へあの夜、雨のように降ってくる焼夷弾を避けながら家族と手を取り合い必死で逃げ、一夜を明かした。と回想する。戦後75年間の平和な日本に感謝し、今後も平和が続くことを祈りたいと語る。

戦後の娯楽が無縁の少年時代、ラジオから流れてきた歌謡曲に魅了され、稀なる才能と努力で作曲家の道を歩んで来た伝説の人である。作曲家の道を決定させたのは中学生のとき、サーカスの客寄せで唄っていたプロ歌手の歌声に魅了されたからだ。その後、親の反対を押し切る形で単身上京し、自力入学で東洋音楽学校（現・東京音楽大学）で作曲を学ぶ。在学中からアルバイトながらプロの演奏家と肩を並べ、日劇などで『島倉千代子』や『守屋浩』など当時のトップ歌手のバックバンドでバイオリンなどの楽器を演奏した。そのギャラは破格な額で4年間の学費、生活費はすべて親の援助はなしで賄えたという。

下積み時代の27歳のとき、結婚と同時にキングレコードからプロの作曲家『森悦彦』としてメジャーデビューを果たす。その後も順調に作曲家活動を続けていたが、実家の母の逝去により家族で帰郷し、活躍の場は四日市に移る。帰郷後は作曲を主軸にCBCラジオ、東海ラジオ、三重テレビなどの歌番組の審査員、四日市都ホテル（当時）の専属ピアノ

ニスト、クラブでの演奏で生計を立てた。そして昭和55年に念願の『四日市音楽院 森音楽事務所』を設立。現在も多くの歌手や音楽指導者を育て、今年で40周年を迎える。

作曲活動では中日ドラゴンズの応援歌『いけいけドラゴンズ』や、四日市市、鈴鹿市の偉人や三重県をテーマにした多くの楽曲を作詩・作曲し、これらの功績や地域に根ざした音楽活動が認められ、平成26年に三重県文化功労賞を受賞した。

84歳の森氏の健康の源は毎日の水泳。現在、東海マスターズ1000m平泳ぎの大会記録保持者である。好きな言葉は『感動』。夢をみながら感動しながら、生涯現役を目標にして、いつの世にも歌い継がれていく歌作りをしていきたいという。（レポート 森 次男）



鈴鹿スポーツガーデン水泳場
（日本水泳連盟公認）

森悦彦（もり よしひこ）
／作曲家
1935年 四日市市生まれ
1959年 東洋音楽学校
（現・東京音大）作曲科卒業後、東京都で教師をしながら作曲・編曲・演奏活動
1974年 帰郷後、ピアノ、エレクトーンの演奏活動。テレビ・ラジオの審査員などをを経て1980年に四日市音楽院を設立。
（社）日本作曲家協会会員

四日市音楽院 森音楽事務所
四日市市安島2丁目11-8
059-354-3691

書と共に

書家

加藤 子華

書道をはじめたきっかけ

教育熱心な父（光城）は一人娘の私に、幼少の頃より書の基本をきびしくたたきこんでくれました。昭和三十一年青山学院女子短期大学に入学し、その年の秋、父のすすめで日展に出品、思いがけず初入選、父と共に親子入選という快挙に、中日新聞が大きく報道して下さいました。この初入選が将来書家としての第一歩を決定づけました。短大卒業後、



四日市市立博物館にて

書のエキスパート養成に力を入れていた大東文化大学に編入、二年間教授陣の薫陶を得て、古典の大切さを学びました。

その後の活動

その後四日市に帰り、結婚子育てと小中高短大の講師等、二足も三足もわらじをはきながら、周囲の温かい協力を得て日展出品が常に私の勉強の場と考え、ただひたすらに書道に邁進。その想いが天にとどいたのでしょいか？平成十年と十四年に特選を。平成二十年と二十八年に日展審査員という大役をおおせつかりました。

国内の展覧会活動のみならず、日中友好交流展は数知れず、ロスアンゼルス、パリ、ドレスデンの諸外国を訪問して、書作品の紹介と共に席書をいたし、技法の基本や作品制作も見せ書の魅力を理解していただく啓蒙運動を展開してまいりました。

これからの抱負

書は白い紙に対峙した時、自分が描いたイメージが脳から腕へ、さらに指先へそして筆先へと伝達され、線となって姿形が表現される芸術です。芸術は自己表現であり単に美しい字が書けるだけでなく、文字の選択から始まり紙筆等の選択などを経て、紙面にバランスをとりながら自己の想いを表現していく線の芸術で、要は書は人間の美の心の発露であると思います。

今後も、老体に鞭打って、人に感動を与えられる品格のある書を求めて精進してまいる所存です。また日本の書文化を後世に伝えるべく後進の育成と共に広く世界にも発信していきたいと願って居ります。

書歴

- 一、日展会員 審査員平成二十一年
審査員平成二十八年

特選二回

入選三十一回

- 一、令和元年度 地域文化功労者表彰
- 一、三重県文化大賞 受賞
- 一、三重県文化奨励賞 受賞
- 一、四日市市文化功労者 受賞
- 一、墨友会 主宰
- 一、個展 東京銀座画廊
- 一、個展 四日市市立博物館
- 一、令和二年九月十五日現在
- 一、昭和十三年一月生まれ



亀鶴

旧四日市 市立図書館 の建物

(すわ公園交流館)



毎年秋に、私は「こども四日市」を手伝っている。子どもたちが街をつくるというイベントで、すわ公園で開催される。朝からの一日仕事なので、お昼になると空腹で、配られたパンを食べずにはいられなくなるのだが、子どもたちは空腹も感じず、公園内を走りまわっている。すわ公園交流館をあわただしく出入りし、夢中で遊んでいる。すわ公園交流館が、戦前からある建物だということは知っていた。この建物はいつたいどんなまなざしで「こども四日市」を眺めているんだろうと、パンをかじりながら思ったことがある。

すわ公園交流館の館長、相場さんからいただいた資料によると、以下のような経緯があった。

昭和3年に起工し、翌年に完成したこの建物は、四日市出身の実業家熊澤一衛氏が、財を投じて建てた図書館だった。その後、第二次世界大戦の四日市空襲時にはこの建物だけが焼け残ったため、負傷者を収容する病院として使われた。戦後、昭和24年には市立図書館として復活し、久保田にある現在の図書館ができるまで開館した。昭和51年には、児童福祉施設「こどもの家」として、平成15年には「すわ公園交流館」として運営される。

建物の正面には、歌人でもあった熊澤氏の別名に由来した、うさぎが描かれた月のマークがある。入口には昭和4年当時から「小



児像」がある。石造りの出窓にはよじ登ってみたくなるし、模様のあるレンガには触れてみたくなる。子どもたちが親しみやすいしかけが、いたるところにある。時代が移り変わり、運営する会社が変わっても、「子どもたちの拠りどころ」という立場に変わりがないのは、すみずみまで探検してみたくなる奥深さにあるのかもしれない。

昭和4年に建てられたなら、今年で91才である。当初の竣工式はどんなだっただろう。凄惨な空襲も見ただろうし、戦後、屋台が並ぶすわ公園はにぎやかだっただろう。今、「こども四日市」をどんなふうに見ているだろうか。建物が持つ記憶を見てみたいのと、毎年、パンをかじりながら見上げている。

(レポート 伊藤美香)

すわ公園交流館

四日市市諏訪栄町22番25号

〇五九一三五〇一八四一一

臨港橋が完成したのは昭和7年。東京の隅田川に勝鬨橋^{かちどき}が完成する8年も前の出来事だ。明治17年に稲葉三右衛門翁が私財を投じて修港した四日市港が完成。その後、人工島の千歳町が誕生し、そこに橋を架ける計画が大正9年ごろから議論されていた。臨港橋と末広橋梁の2つがセットで発注され、手がけたのは可動橋の名手とされた山本卯太郎。完成時は四日市港の二大名物として全国に名を挙げたそうだ。



当時の最先端！ 臨港橋
人工島に架かった港の跳ね上げ橋

臨港橋が動くのは基本的に平日8～17時のみ。写真提供／四日市観光協会



現在の橋は萬古焼の親柱がポイント

初代の臨港橋は車道部分に木塊舗装、歩道部分は板張り。それから約30年ごとに橋は架け替えられ、現在私達が見ているのは平成3年生まれの三代目。橋の幅は初代の倍ほどに広がり、重そうな荷物を積んだ大型トラックがアスファルト舗装の橋を通り過ぎて行く。
(参考文献：四日市市史研究第7号「四日市港の息吹き」)

基本的な橋はいつ何時に跳ね上がる？

「船が通る度に、船の大きさに合わせ、係員が必要なだけ橋を動かしています」とは臨港橋を所有・管理する四日市港管理組合の担当者。船の通行は不定期であり、「橋が動く時間をよくお問い合わせいただくのですが、お答えできず心苦しい」と苦笑いする。橋は最大に開いて70度。ここまで開く事は珍しく、実際は「ちょこん」と開く方が多い。最近では何日も橋が開かないまま、という事もあるそうだ。「千歳（四日市旧港）は今、市の方針で、にぎわいの港づくりを目指しています」。

物流の拠点から人でにぎわう港へ

四日市港で外国との貿易が始まったのが明治32年。121年経った今、四日市港は川越霞ヶ浦〜四日市〜塩浜と広がった。それぞれの埠頭ごとに受け入れ得意な荷があるそうで、千歳埠頭の主要荷役は鉱物・穀物。これからはにぎわい創出のため、港の表情は変わっていくという。「毎年、千歳の旧港エリアを紹介するまちあるきイベントが開かれていますよ」。今年の開催は新型コロナの影響で未定だが、周辺には産業遺産や史跡が多く残る。まちあるきMAPもあるので、今年は何々で旧港歩きと可動橋の見学を楽しんで。

(レポート 中村 智恵子)

臨港橋の問合せ先

四日市港管理組合 〇五九―三六六―七〇二三



隣には昭和6年に竣工した末広橋梁



生産者と消費者の壁を壊す

『しなやかファーム』代表 阿部 俊樹（しなやん）さん

食と音楽の収穫祭「しなやかフェス」の様子

きゅうりはみずみずしい香りと、パ
リッとした歯切れの良さが命。さわ
るといぼが痛いぐらいいのものが新
鮮といわれています。そんなおいし
いきゅうりを生産し、その魅力を
SNSを通じて発信している新時代
の農家さん『しなやかファーム』代表
の阿部俊樹さんにお話を伺いました。

—— エステサロン経営から農業の道
に進ませたものは？

父がサラリーマンで、週末に田ん
ぼをやる典型的な兼業農家でした。
でも、祖父や父がやっている米農家
にあまり魅力を感じませんでした。
それで漠然と大学に進んだのですが
目的を見出すことが出来ず2年間で
中退してしまいました。その後、一
般の会社勤めを経て、名古屋市の女
性向けエステサロンの経営に関わり
ました。このときに女性を美しくす
るのは施術のような外的要因ではな
く、体内に入る食べ物がいかに大切
かということを痛感しました。お米
や野菜など私たちが生きるために大
切な「食」を作っているのは、自分
が小さな頃から敬遠していた農家だ
と気付き、実は凄いのではないかと
思うようになりました。そこから

ネットでも農業について詳しく調べ始
め、農業に興味を持つようになりま
した。

—— 農業の現実はどうでしたか？

農業について調べると既に知って
いる情報ばかりで、閉鎖的な業界だ
と思いました。逆に「仕事がかついで」
「きたない」「お金に結びつかない」
などネガティブなイメージが圧倒的
に多かったですね。私の父でさえ農
業は勧めませんでしたから。そこで
農業を客観的に捉えてみました。す
ると農業のことは分かっている人も多
くの人がそれを発信できていない壁
があることに気がきました。それで、
その壁を壊すためにツイッターを始
めました。

—— 農家になる過程をSNSで発
信し続けたのですか？

そうですね。農業を始める前にエス
テサロンの経営から身を退き、農家
になるまでの過程をツイッターでつ
ぶやきました。

つぶの素人ですので、働きながら
週末の土日だけ岐阜県のきゅうり農
家さんのところで研修させていただ
きました。半年ほど通いましたが、

土日だけです。実質は一ヶ月ほどでした。この過程も毎日つばやきました。すると、これからきゅうり農家を始める私を一度も会ったこともない全国の人が注目し、応援してくれるようになりました。

——きゅうりに特化されたのは？

「ちびや、トマトなどは既にたくさん農家さんがやられています。きゅうりは四日市では誰もやっていないし、三重県内でも少ないからです。他の農作物では経験豊富な農家さんには太刀打ちできません。それできゅうりで一番を取ろうと思ったのです。」

——いよいよ『しなやかファーム』の誕生ですね

きゅうり農家での研修を半年ほど続けた2018年の7月、自分のきゅうり農園『しなやかファーム』を立ち上げました。しかし、いざはじめてみると、研修期間が短かった私には大変なことの連続でした。きゅうりは成長が早く、収穫期のピークは朝6時から夜7時までです。と収穫に追われます。そこから出荷の作業が夜中の3時まで続きます。

本当にしんどい作業ですが、不思議に辛いとは思いませんでした。それは家族を幸せにするために信念を持って始めたこと、台風や地震など自分ではどうにもできない自然災害も加えて、農業には答えが見えないと分かっていったからです。

——はじめての収穫の時の様子は？

短い研修期間で知識も経験も少なかったのですが、収穫したきゅうりはおいしかったんです。そのきゅうりをSNSで知り合った人たちに食べてもらう目的で、食と音楽を融合した収穫祭『しなやかフェス』を立ち上げました。すると遠くからは北海道や、広島県などから70人も参加してくれました。参加できない人からは肉や魚など地産の食材を提供していただきました。このフェスは年2回開催しましたが、100人、150人と参加者がどんどん増えていきました。参加者に獲れたてのきゅうりを「おいしいー!」といって食べてもらえたときは、世界で一番幸せな農家と感じました。

このフェスの成功を通して、作り手の顔と思いが伝われば農業に対する価値観を変えることができるという確



『しなやか』という言葉は私の目指す生き方そのものを表しています。強い体や心はそれ以上の力が加わると折れてしまいます。柔軟な体や心を持っていれば、柔らかく受け止めてそれを力に変えて受け返すことが出来ます。農業は自然との戦いでもありますので天候にも強く影響されます。大変ですが、それも受け取り方次第で視点を変えれば更に成長できる試練と捉えられます。柔らかいけど芯が強い、そんな農業にしたいと思い『しなやかファーム』と名付けました。

信できました。

——今後の目標や夢を聞かせてください。

私には人生において二つの目的があります。一つ目は家族を豊かにすること。二つ目は人を感化するということです。これを大前提にして農家と消費者をつなぐ架け橋のような存在でいたいんです。そして夢は、

なやかきゅうりを日本一、世界一といわれるようにしていきたいです。

(インタビュー 森 次男)

しなやかファーム

四日市市上海老町 11111111

電話 090-150008-160011

<https://shinayaka.me/>

FLASH

夢の実現に向かって準備中!

保育士×消防団員×市民リポーター

神田 亜弥乃さん



写真提供 四日市市

で、クリエイティブな活動をしつつ多方面で活動する人たちとコラボもしていきたいなと考えています。色々々と挑戦していくなかで、きっと何かを得られると信じています。欲張りなのかも知れませんが「人生に後悔だけはしたくない」との思いで活動していきたいです。

これから何十年も先のことなるのですが、保育士になったときの初心を忘れず、いじめや虐待のない、子どもたちの心がほっとできる空間や場所を四日市につくるのが夢です。保育士、消防団、市民リポーターで活動しているのも、最終的にはその夢を実現するための勉強とも思っています。

今後は婚活もしっかりがんばりつつ、目標に向かってブレることなく活動していきたいです。

(インタビュアー 森 次男)

四日市市民ならこの女性のお顔を一度は見たことがあると思います。保育士、消防団員、市民リポーターなどマルチに活躍されている神田亜弥乃さんにお話を伺いました。

学生時代はどんな職業に就きたかったのですか？

歌うことが大好きで、真剣に歌手になるのが夢でした。(笑) 高校生の時NHKのご自慢の三重大会にも出場しましたが、あえなく2個の鐘で敗退しました。しかし音楽が好きで、高校3年生の時に専門学校へ進みたいと真剣に考えていました。そんな時期に虐待やいじめのニュースや記事を読んで、子どもに関わる仕事をしようと保育士の道を選びま

した。以前から「子どもとの接し方が上手だから保育士に向いてるね」とよく言われました。歌以外には、昔から工作など、ものづくりが大好きで、暇があれば何か作っていました。保育士の仕事なら歌も歌えるし、趣味の工作もたくさんつくれて、これは天職だと思いました。

消防団に入団したきっかけは？

きっかけは東日本大震災を機に防災の勉強をしたいと思うようになりました。これには半年ぐらいいの間、週末を使って三重大学に通い『みえ防災コーディネーター』の資格を取りました。この資格があると防災士の試験を受けられるので、同時に防災士の資格も取りました。偶然、取

得直後に近所で火事があり、火災を目の当たりにしたことがきっかけとなり、消防団に入団しました。

『ちゃんねるよっかいち』の市民リポーターのことを聞かせてください

私は四日市生まれで、この街が大好きなのに、まだまだ四日市の魅力などが分かっていないと思い、市民リポーターのオーディションを受けました。リポーターのお仕事は色々な人との出会いや学びの場を与えられ、やりがいを感じています。今後も四日市の良い所をどんどん発信していければと思います。

これからの展望や夢は？

私はお話や工作づくりが好きなの



人生で初めて作った、オリジナルの手袋シアター

聞かせてあなたの声 Voice

チェロ奏者

よねもと のぞみ
米本 希

三重県四日市市出身。
5歳よりヴァイオリンを始め、9歳でチェロに転向。みえ音楽コンクール中学、高校、大学の部第1位。岡田文化財団賞2度受賞。第23回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。ドイツカンマーソリストフシ、ぎふ・リスト音楽院マスタークラス、ぎふ・プラハ音楽院チェロセミナー、上山音楽祭などに参加。
2016年、フェイスフルハート管弦楽団とチャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」を共演。NHK名古屋青少年交響楽団OG。これまでに、チェロを小林薫、高木俊彰、河野文昭、刈田雅治の各氏に師事。
名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学卒業。



皆さんチェロという楽器をご存知ですか？街中や電車で「なんだあの大きいのが、ギターだ！いや違うよコントラバスだよ」なんてよく言われます。ギターでもコントラバスでもない、ヴァイオリンより大きくてコントラバスより小さいあの楽器です。私は赤いチェロケースをリュックサックのように背負っているの、これまた「てんと虫」なんて言われることも。四日市で真っ赤な大きなてんと虫を見かけたら、それはおそろしく私です。

私は四日市で生まれ、高校は音楽科のある名古屋へ、大学は東京へと進みましたが、卒業後戻ってきたです。他県での生活も楽しかったですが、やはり地元が好きです。心が落ち着きます。それから、方言もほっとしますね。ああ、ホームに帰ってきたな、そんな感じです。

四日市愛を少し語ったばかりですが、実は今年の秋からチェロのプラハへ留学します。チェロへ留学するのは、10年以上前からの夢でした。そんなに前から憧れていた理由は、街並みの美しさに心奪われたからです。チェロへ行ったことはなかったのですが、パンフレットなどを見

ながら、こんなところに住めたら毎日幸せだなあ…なんて妄想を膨らませていました。実際行ったら幸せなことばかりではなく大変なことももちろんあると思います。今は留学準備を進めています。たくさんの時間と手間がかかります。とはいえ自分自身の夢のためです。面倒で大変なことを乗り越えた先で大きく成長できると信じています。何度か夢を諦めかけたことはありませんが、行かずに後悔するのは絶対に嫌だったので行く決意をしました。今はとてもワクワクしています。

将来どこに住んで、何をしたいかはわかりません。四日市から遠く離れたところで生活しているかもしれない。この街とのつながりを大切に、四日市で更に芸術が盛んなような活動もできたらなと考えています。

今は先が見えず不安な日々を過ごしている方も多いと思いますが、笑顔忘れずに日々過ごしてほしいです。「外見は大切。笑顔を忘れぬよう。」(ネルソン・マンデラの言葉)

最近見かけなくなつたオーダーメイド紳士服店を市内の北町で見つけました。このお店は、この道七十年の小津年みのるさんが経営する『小津洋服店』です。お店に入るとミシン、針、糸などの永年使ひ込まれた裁縫道具、そして真新しい生地が並んでいます。この小さなお店から作られるのは身体にフィットして着る人を輝かせる極上のスーツです。

小津さんは手先が器用で小学校の家庭科の授業で雑巾作りをしたときに「クラスの中で一番上手に縫えました」と先生から褒めてもらったことが嬉しくて忘れられず、この仕事に就ききっかけになつたそうです。そして中学卒業後に叔母の経営する洋服店に丁稚奉公に入り修行を積みました。ここは完全な従弟制度で特別扱いはされず、厳しかったといえます。その厳しさの中から技術面でたくさんの方が学べたと振り返ります。修行を始めて十年後の二十五歳のときには、新しい技術を学ぶため、クリスチャンデイオールに師事していた大阪の服飾デザイナーに師事して一年間学び、更に

オーダーメイド紳士服店 『小津洋服店』 小津年みのるさん



技術を高めていきました。

その後、営業も任されるようになり、技術と並行して経営のノウハウを覚え、昭和四十(一九六五)年に独立し開業します。「独立して開業出来たのは、叔母、問屋さん、メーカーさん、後輩などたくさんの人たちが協力してくれたおかげです」と謙虚に話されます。

開業して十二年後の昭和五十二(一九七七)年には『全日本紳士服コンクール』で『秀席』を受賞し、名誉総裁の高松宮宣仁親王より表彰を受けられました。この賞状には当時の内閣総理大臣の福田赳夫、通商産業大臣の田中龍夫、文部大臣の海部俊樹などが名前を総裁として連ねており大変名誉な賞です。

現在はたくさんのお客さんがお越しですが、小津さんのお店にはサラリーマンの方々が、昇進祝いや定年祝いにオーダーする昔からのお客様が訪れます。着る人のことを考えて作る小津さんの根強いファンは今も健在です。オーダーは割高ですが、良い生地を使ってきちんと仕立てたスーツは何年も着ることができ、体型が



平成13年、現代画報社の取材で俳優の岡本富士太氏が取材

変われば仕立てたときの製図をもとに体型に合わせてリフォームも出来るそうです。

また、永い経験の中で、平成八(一九九六)年に一着一〇万円の豪華なジャケットを作ったことがあるそうです。

インタビューを通して感じたのは、お洒落で、今もテニスをする八十六歳という年齢を感じさせない若々しさです。これからも、小津さんの永い経験と技術は、私たちの街の大切な宝物です。

(レポート 森 次男)

小津洋服店

四日市市北町七二

〇五九一三五二一九五二

市民活動団体「ふれあいファームきららの風」代表の前田さんにお会いした。

大きな体、大きな声、豪快な笑い声、そして特大の熱いハート、何をとつても大きな人だ。

かれこれ7〜8年前になるが、前田さんが四日市市少年自然の家の所長をなさっていた時に、私はツリーハウス作りでお手伝いをしたことがある。3本の大きな杉の木にまたがるツリーハウスは、有志のメンテナンスにより今もその姿を保っている。



イベント会場での前田佳男さん

訪問レポート 「遊ぼうよ! 学ぼうよ!」 すいざわ田んぼの楽校 代表 前田 佳男さん

前田さんは所長という役職を離れた後、田んぼの楽校の活動を始めた。遊びに行ったのは5年前。泥の田んぼで遊ぶ子どもたちが交わりながら、大人も呆れるような笑顔で遊んでいた。昔ながらの田植え、野菜作り、かかしづくり、農事体験など、今どきの親では体験させられないような学びがとても刺激的だった。ここではきつと子どもたちが、世代を超えた交流から様々な学びを得るだろうと当時感じたことを思い出した。

さて久しぶりにご本人にお会いすると、活動の中心が若干変わってきていることに気が付いた。活動の中心は私が邪魔した900坪の休耕田だけではなく、あちこちへ出かけて行き、その先々での交流を通しての環境学習にまで及んでいた。農業を核としつつ、ふるさとを見つめ守り伝えることの大切さを学んだり、日本の素晴らしい文化を次世代へ継承していく実践活動も加わっていた。収穫をしたり、地元の農家さんが提供してくれたという農機具の扱い方を教わって脱穀をしたりと、手を抜かない先人の知恵を学ぶこともある。しかし獣害被害にあつて悔しい思いをすることもあり、子ども達の学びは奥深い。

活動は入楽式から始まって、田植え、稲刈り、収穫、無農薬の野菜作り、地域のひととの交流、環境学習、心のバリアフリー学習など多種多様。前田さんが子ども達に体験させたいことは無限だ。それらの体験を通して、自然に地球の未来を考えられる子どもたちに育ってほしいと、前田さんは切に願っている。

現在団体には子どもたちの学びを支える大人たちが35名程度。参加に年齢制限はない。あなたも一度覗いてみてはいかがだろうか?

(レポート 伊藤 順子)



昔ながらの田植えをする子どもたち

すいざわ田んぼの楽校

〇九〇一四三五六―三三四一(前田)

路傍の自然石考

⑦

四日市の二つの「なぜ石」

吉川 宗明

尾平町の神明神社に「なぜ石」と呼ばれるものがある。「なぜ」は「撫ぜ」、つまり「なでる」の意であり、石をなでた後に自分の体の悪い部分をさすると、痛みやしびれが治まるという。

神明神社の「なぜ石」は二個あつ



神明神社向かって右の「なぜ石」



神明神社向かって左の「なぜ石」

て、社殿向かって右（東）側の石をなでると首から上に、左（西）側の石をなでると首から下に効くという信仰を伝えている。

「信仰を伝えている」と書いたが、はたしていつ頃からの信仰かと調べると、かんざき風物詩編集委員会編『かんざき風物詩』（二〇一二年）に「土地の神社の世話役の話によりますと、神明神社の先々代の神主さんが何かの意図でどこからか石をもらい受けて境内に奉ったのが起源とのこととす。」とあつた。神社と石の信仰と聞くと、アニミズムや原始宗教といったイメージから、つい神社ができる前の太古の歴史を連想しやすいが注意である。と同時に、最近の出来事でも一つの確かな歴史であり、そこに本来軽重はない。四日市市には、同じ名前をもつ「なぜ石」が赤堀の八阪神社にもあつる。正確には、八阪神社境内社で



三徳稲荷社の「なぜ石」

ある三徳稲荷社の所属となるように、こちらの「なぜ石」は一個で体の全部位にご利益対応ながら、特に頭の病に効き目があるという。

現地に立つ「三徳稲荷大明神勸請由来」を読むと、昭和二十六年「御神示」があつて、京都伏見稲荷にまつられる三徳稲荷大明神を赤堀八阪神社境内に勧請したのが始まりと記されている。

「なぜ石」についても、「御神示」により鈴鹿山脈の入道ヶ岳麓の御幣川上流で「清浄な石」を持ち帰つてまつつたのだという。

昭和戦後期における「御神示」が誰に降りたのかは詳らかではないが、尾平の「なぜ石」も赤堀の「なぜ石」も、別の場所から持つてきた岩石という点で共通する。「なぜ石」「なで石」という名称をもつ岩石は、管見の限り全国的に類

例が多いとは言えず、そのような中で四日市市内に集まる二ヶ所の「なぜ石」が、類似した時期に、類似した出自と経緯、類似した信仰で現在に残ることは興味深い。石をなでて体を治すという悩みの解決法について、それを要請する人とそれに応えた人が複数いたということだろう。

近代化以前の話ならいざしらず、すでに昭和戦後という時代でこの種の信仰が新たに生まれることを奇異に感じられるだろうか。私は、現代でもスピリチュアルブームの中で大なり小なり新たな信仰が生まれていることを踏まえれば、まったく不思議なことではないと考える。むしろ、ちょっとした心の揺らぎで、私たち自身も何かを強く信じたり願ったり、よるべきものを変えたりするという可能性が、過去の人々と同様に存在するのではないか。

人が抱くさまざまな悩みや、何かを解決したいという心理が根源的には変わっていないことを、本来、人の意思が介在しないはずの物体である岩石を通して浮かび上がってくるのがおもしろい。

パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

令和元年度 一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞

総合美術展 みんなで創造ろう楽しい集い!

私たちの活動を振り返って

第70回 四日市市民芸術文化祭

この人を知る

現代詩

階段

文芸ひろば

館 奈見子

(上り)

上りきったらF街のビルの谷間に出るはずが、そこは自宅の二階だったり、改札へ駆け上がったつもりが、知らないマンションの屋上へ着いたりした。一段目に足をかける、その角度かも知れなかった。鋭すぎると傾いてしまう。かといって浅いと、ぐらつくだけのような。もしくは、誰とすれ違うかだ。いつか。向こうから下ってくる人の靴音が、わたしの靴音にそっくりだったことがある。その時わたしが上りきった静かな階段は白い浜辺へと続いていて、そこで、ゼラチン色の波の寄せ返しをひとり数えた。乾いた珊瑚。貝殻。けれど、わたしが七まで数えたところで波はぴたりと止まってしまったのだから、あれは夢かも知れない。

(下り)

わたしが一段下るたびに、また一段が増えた。息つきするように段は段を呼び、いくら進んでもわたしは永遠に階段を下りきることができない。けれど、これこそが、月の満ち欠けや、葉の芽吹き、口に砂糖が甘かったりするのと関係しているらしい。あるいは、たった一度だけ下から上ってきた人。あれはたいそう身近な、そう、わたしによく似ていた気もするが、なにしろ雨の八月の夕暮だったのになにも覚えていない。くすんだ輪郭。ただ、確か、彼女の持っていた傘の先端からは薄桃色の雫が点々と滴っていて、しゃがんで触れると指先がゆっくりと溶けていくのだから、彼女の方を振り返ろうとした。わたしは。何度も。

令和2年5月25日

令和元年度

一般社団法人 四日市市文化協会 文化活動功労賞

一般社団法人四日市市文化協会
 会員顕彰に基づき、令和元年度の
 文化活動功労賞を受賞される皆さ
 んをご紹介します。

(順不同)



左より今井氏、早川氏、河合氏。

早川 富美子(はやかわ とみこ) あさけプラザ文化団体 (地域文化部門)

民謡、童謡コーラスの代表としてあさけプラザ文化団体に加盟して30年、また同団体の役員として秋・春の文化祭の食品バザー等を通じて地域の方々との交流を図るなど永年活躍されています。また当協会の事業「バス研修旅行」・福祉施設の慰問なども積極的に行い、地域との結びつきに寄与しました。

河合 久美甫(かわい くみほ) 華道 未生流 (華道部門)

80年の歴史のある四日市華道教授者連盟に加盟の未生流代表として、「継続は力なり」をモットーに活動されています。また、キッズ伝統文化体験教室のいけばなの講師、小学校のクラブ活動担当など子どもたちへの伝統文化の振興・普及にと貢献しています。

今井 真悟(いまい しんご) 三重県北勢囲碁連盟 (趣味教養部門)

市民芸術文化祭の市民囲碁将棋大会の囲碁部門をほぼ30年開催し、三重県北勢囲碁連盟会長として囲碁の普及に長年勤め、平成31年日本棋院普及活動賞を受賞されました。また文化協会主催のキッズ伝統文化体験教室の囲碁教室の講師として初回からお世話になり、7回を数えました

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板”
 フルカラーインクジェット大判プリント

840x1600mm 4,320円～ 耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い ☎ (059) 353-3885

企業のイメージアップサポーター

株式会社 **紺文デザイン**

〒510-0075 四日市市安島2-4-14

http://www.konbun-d.com
 E-Mail info@konbun-d.com

総合美術展 みんなで創造ろう楽しい集い!

谷口路代

昨年の開催三日間は連休もあり、行楽地へ出かける方や各地でのイベントも多数開かれており、総合美術展の会場へ足を運んでいただけの方は例年より少なかつたように思いました。しかし、その中で、それぞれのジャンル、書道での力強い墨の黒と紙の白との対比、かな書道の繊細に流れる筆運び、銅板工芸の遠近の表現、銅板のもつ艶の美しさ、写真の光と影のコントラスト、手描き染めの色彩豊かで華やかなタペストリー、尾張絵の掛け軸や額の絵と文字の融合、俳画の持つわびさび、そして公募の方々の力作などを鑑賞し、皆様の感性を豊にし、また、養われることができて秋のひと時を過していただけたのではないでしょう。

展示棟に入ってすぐの第四展示室では、毎年、各分野が交替で展示しています。



さて、今回はどの分野のどのような作品となるでしょうか?今から楽しみます。

総合美術展では、他分野の作品から感動をもらい、それを自分の作品にも取り入れて切磋琢磨しながら作り上げ、会員ひとり一人が、より楽しんで観ていただき、感動を届けられるように進めております。

私自身、この総合美術展に関わって日も浅いのですが、反省しながら作品づくりに夢を膨らませています。

賛助会員 (順不同・敬称略)

法人会員

- (株)シー・ティー・ワイ
- (株)第一楽器
- (学法)富田文化学園
- 茶道具 山水園
- (一社)セントラル愛知交響楽団
- 四日市クラシックファンクラブ

個人会員

- 一見 政幸 中川 正春
- 田中 俊行 永田 正巳
- 津田 健児 樋口 博己

文化協会活動にご理解とご支援をいただいている皆様です。

私たちの活動を振り返って

四日市華道教授者連盟会長 熊本 梨里

パッシヨンの誌面をお借りし

て、以外と知られていない四日市華道教授者連盟の活動などをご紹介します

介したいと思います。

現在は六流派「池坊、未生流、

小原流、草月流、臺会、嵯峨御流」

会員数七十一名の教授者から成り

立っております。主な活動内容は、

六月開催のアート展、十一月には、

四日市市民芸術文化祭、また、キッ

ズ伝統文化体験教室が十一月から

十二月にかけて四回行われます。こ

れは公募をしており、応募数は定

員オーバーするほどの大好評とな

り、毎年楽しみな行事となりました。

十一月に開催される恒例の四日

市市民芸術文化祭「生活文化、趣

味の作品展」も年々皆様のレベルも

高くなり、素晴らしい作品が展示

されています。是非、ご高覧頂き、

ご批評を賜りたいと存じます。

二十年程前でしょうか？四日市

ドームにてジャパンフラーワフェ

スティバルが開催されました。華

道も各流が合同合作し、超大作を

展示しました。誰もが経験不足の



生活用品や廃物を利用してける(テーマ)

中、この緊張感は充実した新鮮なもので、和気あいあいの作業になりました。その際には常陸宮妃殿下のご臨席も賜りました。本当に古き良き時代だったと思います。

文化も発展していくにつれ、常に新しい事が求められます。私たちは『継続は力なり』の言葉を信じて日々研鑽しています。しかし、時折大きな問題に直面したときは、凄く落ち込みます。そんなときは、モヤモヤや不安がスッと消え、心が軽くなる言葉「Tomorrow is another day.」あしたはあしたの風が吹く、とりあえず寝よう。忘れることが大切」を頭に描きます。

以前に四日市市文化協会設立発起人会代表の石田克久氏の趣意書に「四日市市は文化不毛の都市と言われ、悔しい思いをした」と記されておりました。このような言葉をお聞きし、今後とも伝統文化の更なる発展に貢献出来ますよう一丸となって精進してまいります。市民の皆様が、私たちのいけばな展をご高覧いただくことで、少しでも心豊かな気持ちになり、安らかな日々をお過ごしただければと願っています。



平成9年11月 合同合作 四日市ドームにて

第70回 四日市市民芸術文化祭

(令和2年度)

主催 四日市市 一般社団法人 四日市市文化協会

開催日	催名	会場
9月	19(土)・20(日) 第55回 秋の文化祭 中止	あさけプラザ
	20(日) 合唱祭 中止	四日市市文化会館 第1ホール
11月	3(火) 四日市短詩型文学祭 中止	四日市市文化会館 第1～3会議室 和室 第3ホール
	7(土)・8(日) 生活文化・趣味の作品展	四日市市文化会館 第1・3・4展示室
	15(日) 市民社交舞踏会	四日市市総合体育館 多目的室1
	15(日) オータムコラボレーション	四日市市文化会館 第2ホール
	20(金)～22(日) 総合美術展	四日市市文化会館 第1・3・4展示室
12月	13(日) 第41回 四日市市民囲碁大会 中止	四日市市文化会館 第3ホール／第3会議室
	13(日) 日本舞踊まつり 中止	四日市市文化会館 第2ホール
	20(日) クリスマス茶会	泗翠庵
	27(日) 四日市の第九	四日市市文化会館 第1ホール
2021		
1月	31(日) ニューイヤーコンサート 中止	四日市市文化会館 第1ホール
2月	6(土) 四日市地域ゆかりの伊藤亘行さん 生誕100年記念の集い	四日市市文化会館 第1ホール
	28(日) キッズ・ドリーム・コンサート ～第31回「年にいちどのこんさーと」	四日市市文化会館 第1ホール
3月	20(土)・21(日) 第33回 春の文化祭	あさけプラザ

上記は8月28日現在の内容です。今後の情勢の変化により中止になる催物もございます。

開催情報は四日市市文化協会ホームページをごらんください。[\(四日市市文化協会 で検索\)](#)。

お問い合わせは、催し別担当者か市文化協会…TEL・FAX：059-351-3729(月～金曜日の13～17時)



～クラシック音楽があふれる街に～

四日市クラシックファンクラブ

四日市クラシックファンクラブの主な活動

①身近なコンサート情報をクラシックファンに届ける。②チケットがお値打ちに手に入る。
③演奏会を開きたい方や、聞きたいコンサートのサポートや企画、感想や批評を語り合う場づくり。

市制123周年記念音楽祭/ニューイヤーコンサート2020/セントラル愛知交響楽団四日市定期など開催準備中!

TEL/FAX：059-354-0731 事務局：〒510-8508 四日市市諏訪町7-17 携帯080-4222-3566(西村)
Eメール kunikuni551@msn.com ホームページ https://classic.cloud_line.com

この人を知る

第5回

森 修平 さん



森修平さんは、着物屋紺文の代表取締役でありながら、商店街連合会会長など幅広いフィールドで活躍されています。今回は昨今メディアでも話題になり、知っている方も多いと思われる「さきめし券プロジェクト」に絞ってお話を伺いました。

結果的に約五百五十件もの店舗様にご参加いただきました。また、当初「さきめし券」の目標額を五百万円で設定していましたが、一日も経たずに達成し、自分たちの想定をはるかに超えて、一ヶ月で約三億円もの賛同が得られました。

三億円！。それは凄いですね！ やはりクラウドファンディングというネットを介して募ったからいそ、全国から集まったというところでしょうか？

それがご購入いただいた方々の内訳といたしましては、ほとんど四日市市の方による協力でした。四日市市を支えたい。力になりたい。そういった市民の思いやりの声が、今回の「さきめし券」に形を変えて現れたのだと思います。

これだけ反響がありますと「さきめし券」が復活することもあり得ますよね？

今回四日市市の当初の予算より大幅に超えているので、中々難しいかと思えます。ですが、今回の「さきめし券」のおかげで、四日市市は全国に名を轟かせたでしょうね。

(インタビュー 小崎裕貴)



そもそも「さきめし券」とはなんでしようか？

「さきめし券」とは、応援したい店舗のお食事券を先に購入していただけ、支援していただいた方に、購入した食券を購入価格の四十パーセント分の金額を上乗せしてご利用いただけるチケットです。新型コロナウイルスの影響下で飲食店の売り上

げが大きく落ち込んでいたことからスタートしました。この「さきめし券」、四日市市が四十パーセント分を負担してくれているため、飲食店側にもご支援いただいた方々にも負担をかけないのが一番の売りでした。

「さきめし券プロジェクト」で苦労したところは？

今回「さきめし券」をご購入いただいた方々が、約一万三千人おりまして、一人当たり何枚でも購入が可能でしたので枚数が膨大でしたので、事務的な手続きも大変でしたね。

具体的には、まず参加いただいた店舗の名称毎にチケットを割り当て、ご購入いただいたチケットを世帯ごとに仕分けし、仕分けされたチケットを承認のために代表として印を押す。それだけでなく、インター

「さきめし券」の着想はどこから得られたのでしょうか？

元々は三月末頃に他県で行われていた活動であり、実際にとある三重県の店舗が先駆けて「さきめし券」のシステムを利用したところ、上手く機能しておりまして。

少数ではなく飲食店全体をまとめ上げ、クラウドファンディングで募れば上手く回るのではないかと。そう考え、四日市市の協力のもと、四日市市の飲食店であれば基本的に参加可能を謳い募ったというのが今回の「さきめし券」の発端でございます。

※さきめし券をご購入された皆さまへ：さきめし券の利用は7月1日から、半年間。12月31日までですので、ご協力いただいた皆様、どうぞ奮ってご利用ください(現在、さきめし券の販売は行なっておりませんので、あしからずご了承ください)

元気な四日市が好き!!

四日市市文化協会入会のご案内



四日市市文化協会は

- ・四日市市民芸術文化祭を企画、運営します。
- ・文化団体の育成、支援をします。
- ・子どもの文化活動を支援します。
- ・文化情報誌『パッション』を発行します。
- ・他市町文化団体との文化交流をします。
- ・催し物のサポートをします。

暮らしの文化から芸術まで 幅広い分野の仲間がいます

- 1 文 芸 (俳句・短歌・川柳・連句・現代詩・郷土史)
- 2 美 術 (書道・写真・俳画・絵画・銅板・染色・手描き染・尾張絵・立体造形・押花・イラスト)
- 3 邦 楽 (箏曲・三味線・尺八・吟詠・剣詩舞・長唄・民謡・大正琴)
- 4 能 楽
- 5 合 唱
- 6 洋 楽 (吹奏楽・管弦楽・ギター・ハーモニカ・ジャズ・シャンソン)
- 7 演 劇 (演劇・民話語り)
- 8 舞 踊 I (日本舞踊)
- 9 舞 踊 II (創作舞踊)
- 10 舞 踊 III (日本民踊)
- 11 洋 舞 (バレエ)
- 12 芸 能 (舞踊・奇術)
- 13 茶 道
- 14 華 道
- 15 生活文化 (盆栽・山野草・水石・人形)
- 16 趣味教養 (将棋・囲碁・着付け・アートフラワー・絵手紙)
- 17 文化交流 (社交ダンス・和太鼓)
- 18 地域文化 (シニア趣味の作品展示・あさけプラザ)
- 19 子ども文化 (ジュニアアンサンブル・キッズベル・子ども演劇)
- 20 コ ラ ボ (フラダンス・フラメンコ・キッズダンス・太鼓)
- 21 個 人

Q まったくの初心者ですが、一人でも入会できますか？

A もちろん、歓迎します。経験豊かな会員が、あなたの相談にのったり、アドバイスをします。

Q 車椅子の生活をしています。文化にはとても関心があり、入会したいのですが…

A あなたのパワーと情熱に期待しています。仲間の方々にも声をかけて、ご参加ください。

Q 職場は四日市市内ですが、市外に住んでいます。入会できますか？

A 四日市を愛する人、文化を大切にしている人ならどなたでも入会できます。また、職場単位でも結構です。鑑賞団体・ボランティア団体も歓迎します。

Q 転勤で引っ越しましたが、入会できますか？

A 会報などで情報をお伝えします。ぜひ入会して、積極的にご意見をお聞かせください。

Q 長年、市の内外で文化活動をしている団体です。入会すると、どんな活動が期待できるのでしょうか？

A 四日市市民芸術文化祭をはじめ市主催の行事への参加、また異なるジャンルの方との交流などができますのであなたの団体の発展に役立ちます。

Q 地区市民センターでクラブ活動をやっています。小人数の仲よしグループですが、入会できますか？

A グループでも一人でも入会できます。文化活動のできる楽しいまちづくりのためにグループの皆さんと積極的に取り組んでください。ぜひ、一緒にやりましょう。

年会費

正会員(個人) 2,000円/人

正会員(団体) 会費は構成人数により異なります。

構成人数	1～3人	4～10人	11～20人	21～30人
金額	2,000円	7,000円	10,000円	12,000円
構成人数	31～40人	41～50人	51～100人	101人以上
金額	15,000円	18,000円	25,000円	30,000円

但し、中学生以下は金額計算には入れません。

賛助会員(個人) 5,000円/一口

賛助会員(法人) 10,000円/一口

- ・入会は随時できます。
- ・詳細は事務局までお問い合わせください。

私は今銅板工芸の会事務方を仰せつかっており、銅板工芸の会員70名の皆様への連絡やら銅板工芸の普及活動（展示会・体験活動への参加など）に努めております。

この春先は新型コロナウイルス感染症防止の緊急事態宣言が発せられ外出自粛となり関係する、すべての行事が中止・延期となり大変でした。連休明けには緊急事態宣言が解除され、恐る恐る平常に戻ってきていましたが又お盆を前に第2波が到来の様で日々感染者数の増加に驚いている毎日です。お互いに気をつけましょう。



私と銅板工芸 太田 進

でしょうか。もつと気軽に取り組めるのですよ。極薄の銅板を裏面からへうで押し出し立体的に形成し、黒く染め磨いて仕上げるもので、風景画・浮世絵・文字等何でも可能で出来上がりが楽しいものです。ただ指先を使い緻密作業に集中する事が必要で「認知症」防止に効果があるのではと思っておりますが？

私が銅板工芸を始めたのは四日市が運営する「熟年大学」に入学したのがきっかけです。入学には趣味のクラブ選択が必須で、書道・水墨画・俳句など8コースがあり中に聞きなれない「銅板工芸」がありました。これなら既経験者も少なく皆同時スタートできるのではと思いついたのが始まりでした。あれから14年今も続いています。彫って・染めて・磨いての単純作業ですがそれぞれ奥が深いものがあり、まだまだ満足した作品が出来上がりません。これからも追及していきたいと思えます。

理事長ひびき

荒木 栄里子

未だ衰えを見せることのない新型コロナウイルスの流行の前に今年度も半期が過ぎようとしています。文化祭は9月開催事業まで中止を決定しました。6月開催を目指した「70回記念フェスティバル」は12月に延期予定でしたが、再度の流行によりやむなく中止を決定しました。

コロナの流行の兆しが著しくなったある日、ある方から「文化は大切ですから繋げていってくださいね」の一言に励まされ、背中を押された気持ちで事業開催に向かって進めてきました。しかし、人命第一と考え口惜しくはありますが、この結論に至りました。この経験は会員の皆さんと周りの方にとって展示、舞台を問わず年に一度の発表の場がいかに大切なものであるかを感じずにはいられないものでした。それぞれの活動を大切に、次に向かって対策をしつつ再開し次へのステップと考えて頑張っております。

編集後記

●早朝ランニングを春から継続中。週に1回四日市や鈴鹿の名所旧跡を約10キロ、仲間と一緒に走っています。西は「四郷ふるさとの道」、東は今号で紹介されている「臨港橋」近辺の四日市港から新しくなった中央緑地まで。旅行好きの私がコロナのおかげで地元をさらに知ることができたのはプラスの面。マイナス面は車のバッテリー上がり起きそうとディーラーの点検で言われたこと… (吉川秀道)

●レコードプレーヤーを買いました。どきどき立ち寄るレコード店で、いつか聴こうと買い集めていたものの、肝心のプレーヤーがなかったのですが、最近、友人から安く譲り受けました。ザラザラス・フォーのベスト盤、ジュディ・コリンズなど。私は歌も映画も小説も、どういうわけか、自分が生まれるよりも前の世代のものが好きです。レコードで聴いた歌を、車で歌う。音楽に支えられている毎日です。 (伊藤美香)

不易流行 うたせぶね 打瀬舟のこと

四日市の文化で失われたものの一つに打瀬舟がある。底曳き網漁をする舟で、全長二十メートル余りの舟に帆柱が二本、それに巨大な三角帆を三枚張り、面手と艫に下ろした袋網を、風の方で横様に曳くのである。夏から秋にかけてクルマエビ、ワタリガニ、シャコ、それにシロエビ(アカシャエビ)という美味しい海老を獲った。魚はカレイやコチなどの底魚だった。

昼間は沖に白い大鳥が優雅に舞うようで、夜は、ことに陸軟風という漁に打ってつけの風が吹くと、出漁の舟も多く、沖一面が漁火に埋め尽くされ、正に夢のような光景であった。

ところが、残念なことに、ある日大量のオイル・ボールが押し寄せて来るようになって、獲った魚も油臭くなり、この漁も出来なくなってしまう。

ヤフーで検索すると、今も北海道の野付湾でホッカイシマエビ漁にこの打瀬舟が活躍しているそうだし、九州八代海の芦北にも残っているらしい。

経済発展も大事だが、伝統文化の継承ということにも心を配りたいものである。(西田青沙)

パッション 67号

- 発行 令和2年9月15日
- 発行人 荒木 栄里子
- 編集 パッション編集部
森 次男(編集長)
石井 亨・伊藤 順子・伊藤 美香
小崎 裕貴・中村 智恵子・吉川 秀道
西田 青沙(オブザーバー)
- 発行所 一般社団法人四日市市文化協会
〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10
TEL・FAX 059-351-3729
- デザイン・レイアウト 高田 敦
- 印刷所 水九印刷株式会社

シーズンプラン

2021年
3月31日(水)まで

ホテルならではの上品なお食事とサービスで、皆様の思い出に残る特別なひと時をお楽しみください

3つのコースからお選び下さい

Aコース

洋食料理 or 中国料理

立食buffet /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **6,800円**

Bコース

洋食料理 or
中国料理 or 日本料理

コース/会席/立食buffet /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **8,400円**

※日本料理は+500円

Cコース

洋食料理 or
中国料理 or 日本料理

コース/会席/立食buffet /
着席パーティー(大皿)

お1人様 **10,400円**

フリードリンク2時間付き (ビール・日本酒・焼酎・紹興酒・ウイスキー・カクテル3種・ノンアルコールビール・ソフトドリンク)

都ホテル 四日市

ご予約・お問い合わせ / 宴会予約

☎ 0120-385-179 (10:00 ~ 18:00)

〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-38

水 九印刷は印刷事業を軸にデザイン企画、
WEB制作、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)、
物流までお客様のあらゆるニーズにお応えしております。



MIZUKU

地域と共に140年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。

あなたの想いを
カタチに実現する



 **水九印刷株式会社**

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147

TEL.059-332-6600 FAX.059-332-6688

E-mail admin@mizuku.co.jp www.mizuku.co.jp



地上デジタル **12ch**

N ケーブル News

月～金の18時から ケーブルNews

ケーブルNewsは、行政の動きや地域の出来事、
催し、気象情報など三重県北勢地域の情報が満載。
首長自らの言葉で町の動きを語ってもらうコーナーの他、
新聞記者による解説、中継もあります。

月曜日～金曜日 18:00～



CTYコネクでも**LIVE配信中!**
今すぐダウンロード!



※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。

地域の活動や知ってほしいこと、伝えたいこと、情報をお寄せください。

発行所 一般社団法人 四日市市文化協会
〒510-0057 四日市市島袋町21-10
TEL・FAX: 059-3351-3729

パッション 67号
発行 令和12年9月15日
発行人 荒木栄理子
編集 パッション編集部

CTY FM 76.8 MHz

四日市発、地域と人をつなぐステーション

Morning Wave

月曜日～金曜日 7:00～8:54

四日市・菟野を中心とした北勢地域の情報満載でお届けします。
あなたの朝をしっかりサポート!

月	火	水	木	金
山本 浩之	宮瑞 アリ	ゆかり	倉田 千裕	コートロー

Evening Wave

月曜日～金曜日 16:00～18:49

あなたが知りたい地元の情報満載の3時間。
1日の疲れを素敵なおしゃべりと音楽で癒やします。

月	火	水	木	金
笠井 久未	熊谷 よう子	藤田 綾乃	まこ	大場 由香

災害への備えとして、アプリをダウンロード!

公式アプリを使えば雑音も無く快適にラジオをお聴きいただけます♪
災害時には防災ラジオとして緊急情報などを随時放送。災害への備えとして、
今すぐダウンロード!

「FMアラプラ」アプリをダウンロードしていただき、CTY-FMを遠慮してください!

※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。

安心 信頼
快適 充実

株式会社シー・ティー・ワイ

0120-30-6500 9:00～18:00(月～土 祝日を除く)
※電話受付時間は変更になる場合がございます。

詳しくは **QCTY** で検索!
<https://www.cty-net.ne.jp>